

噴気孔と泥壺

この地域では、かつて硫黄の採掘が盛んに行われ、その硫黄の存在は地域の全域で見る（臭う）ことができます。硫化ガスの大部分は噴気孔（高温のガスと蒸気が出てくる穴）から排出されています。沸いて泡立っている、噴気孔を持たない多数の小さな泥壺（マッドポッド）もあります。別の熱い泥の沼である紺屋地獄と同様、この場所の噴出した蒸気の成分は地下水に溶け出して沈殿物になります。蒸気によって熱されたこの沈殿物の温度は 93.8°C に達します。泥壺は、pH1.6～2.2 という強い酸性でもあります。